

主催 中野の渡し保存を求める会



# 中野の渡し FAINAL イベント



250年の歴史を刻む木曾川最後の県営渡し船



### 【イベント内容】

**開催日** 令和8年3月14日(土)  
雨天の場合 3月21日(土)

**場所** 県営西中野渡船場

**式典** 9:00から

**一般乗船** 午前10時~11時 *全往一回*

**時間** 午後0時30分~2時 *3回*

**臨時駐車場** (株)細田建築様駐車場

**模擬店** (バザー)

**みたらし団子・ポッポコーン**

**ホット缶コーヒー**

会 長	朝日連区地域づくり協議会	加藤 金吾
相談役	愛知県県会議員	佐藤 英俊
	一宮市市会議員	東瀨 正人
	一宮市市会議員	本山 廣次
協 力	一宮市公園緑地課	

*舟本(舟)*

*雨(雨)*  
*2/25 舟本(舟)*

雨天の場合、開催をQRコードで確認して下さい。



【問合せ】加藤金吾 090-7864-1641

「中野の渡し」の歴史は、江戸中期の安永(1772~1781)の頃から記録が有り続いています。かつては、通勤・行商・買い物などのほか、千代保稲荷神社へ参詣で乗船しました。伊吹山から養老山脈までの景色や木曾川の渡り鳥など自然に接する贅沢な時間を楽しめます。現在では、新濃尾大橋が令和7年5月24日に開通してから、利用者が減っています。250年続いた中野の渡しが令和8年3月末で運航の役目が終わろうとしています。私たち保存を求める会は、今後とも中野の渡しの存続を求めて活動を続けてまいります。皆様からの応援もお願い致します。但し、詳細は市のホームページで確認して下さい。

*~3/20*

*今年度で終了  
船一舟の渡し*